

消防出初式

新春恒例の東川消防団出初式が1月5日、快晴のなか消防署前を会場に行われました。当日は76名の消防団員が堀部団長の号令により整列し、草間支署長の開会宣言の後、国旗掲揚、団旗・町長に敬礼、人員報告が行われ、続いて松岡町長・森谷旭川東警察署副署長・石上議長他消防関係者の観閲を受けました。



堀部団長(改善センターにて)



市街地を行進

「写真の町」情報館

INFORMATION

写真甲子園2005参加選手の声

岩手県立盛岡北高等学校 / 吉田悠子さんより

3日間の日程で行われた写真甲子園2005。カメラ技術も知識も全くといっていいほどなくて、初日は少し、来たことを後悔したりしました。「うわあ、みんなすごそう...」と気持ち負けしていました。

ですが、二日目、撮影が始まるとそんなことを考える余裕は全くありませんでした。生まれてはじめての雨の中での撮影。それも、自分が知らない土地で、人が誰もいない中での撮影。正直言うと、出だしとしては最悪でした。何を撮ったらいいのか何も分からないのに制限時間がどんどん近づく。第1ステージの序盤は、本当に焦っていました。

しかし、第1ステージも終わりに近づくと「もうしょうがないか」と変に開き直っていました。それから後は結構楽しかったです。

撮影で一番楽しかったのは、第5ステージでした。写真甲子園のスタンスにもやっと慣れて、街中で撮影できて、晴れていて!

撮影の中で、あるお宅におじゃまされたのですが、たくさんのいい顔を撮ることができて、とてもおもしろい話を聞くことができて、お家に上げてもらって、たくさんおしゃべりすることができました。人見知りのわたしは、今まで知らない方を撮らせていただ

くときも、あまり会話は弾まなかったのですが、この写真甲子園に参加することで、それを克服することができました。

準優勝という成績を残すことができたのは本当に嬉しかったです。今まで賞に入ったことがなかったのに、初めての賞が写真甲子園準優勝ということに、自信と自覚を持っていきたいと思っています。

他にも、ここで学んだことはたくさんあります。写真を撮る上で技術的に注意しなければいけないことはもちろん、精神的にも少しは鍛えられたと思います。

撮影以外の時間もとても楽しかったです。こんな機会でもないと話せないような地域の子と話すことが出来て、とても新鮮でした。最後の夜にやった花火はとても印象に残っています。

今回、写真甲子園に参加する上で、たくさんの方に支えてもらいました。予選のときにモデルになってくれた友達、本戦の前に励ましてくれた仲間、北海道でわたしを引っ張ってくれた先輩方、コーチに顧問、OB・OGやスタッフの皆さん、本当にありがとうございました。北海道で体験したことを活かして、これからも写真を撮り続けたいと思います。



多くの皆様楽しんでいただきました

まちの話題が満載! Town News まちの出来事

第32回東川氷まつり

第32回東川氷まつりが1月21、22日の2日間、羽衣公園をメイン会場に開催され、町内外より約8,500人が訪れました。会場には氷彫刻コンクール出品の氷像をはじめ、個人やグループ制作の小氷像12基、職場やサークルなどが作った雪像14基が立ち並び、訪れた見物客を楽しませていました。イベントでは、もちつき、ゲームコーナー、花火などに加え、旭川凌雲高校吹奏楽部、東川中学校の演奏会などが行われ、氷まつりに華を添えていただきました。

昨年に引き続き行われた雪中綱引大会では、職場団体や町内会・学生・子供会など12チームの参加があり、会場中央に特設された氷のレーンに苦戦しながら優勝目指して力いっぱい綱を引く姿が見られました。



最優秀作品「チョッパーとカラー」

雪中綱引大会結果
優 勝 ほくでん
氷彫刻旭川支部コンクール
優 勝 「追撃」 岩田英樹(東川氷土会)
雪像コンクール
最優秀賞 「チョッパーとカラー」(北海道理工福祉専門学校環境土木学科)

平成18年成人式

平成18年の成人式が1月8日改善センターで行われました。今年町内で大人の仲間入りをしたのは95名(男性55名、女性40名)で、当日はそのうち46名の新成人が出席し、来賓、父母らと新成人の門出を祝いました。

例年式典では、参加した新成人一人ひとりが壇上に立ち近況などを報告する企画が行われていますが、出席した成人者たちは少し緊張しながらもいろいろな道に進んでいることやこれからの決意をしっかりと口調で話していました。

式典終了後は婦人会連絡協議会のみなさんの協力による新成人の集いが行われ、久しぶりに会う旧友たちとの話しに花を咲かせていました。



堂々と...恐縮。



成人おめでとう。いっしょに未来を築きましょう。



新成人から答辞